

第8回発掘調査報告会の概要

去る2月11日(日)に、新潟ユニゾンプラザを会場に、第8回発掘調査報告会が開催され、329名の参加がありました。今年は午前の部で、新潟大学教授の小林昌二先生による「出土文字資料から見た古代越後」という演題での講演会を実施し、午後からはスライドなどを活用し、6遺跡についての報告を行いました。講演会、報告会とも、質問時間には活発な質疑応答が交わされ、参加された方々の関心の高さが窺われました。また、遺物展示会場では、報告した6遺跡の主な遺物と共に「発掘された文字資料」のテーマで併設展示も行われ、終日盛況でした。

当日のアンケートで寄せられた数々の意見や要望を参考にし、更に充実した報告会になるよう工夫を加えていきたいと考えています。来年度の報告会の詳細については、今年度と同様、様々な広報手段を通して皆様にお伝えしていきますので、多くの方々の参加をお待ちしています。



遺物展示会場の様子



報告会のポスター

遺跡カードCD-ROMの発行

—文化財行政事務のために—

事業団は新潟県教育委員会と共同して、県内全遺跡の情報を検索できるCD-ROMを、希望する市町村教育委員会と上中下越の各教育事務所に配付します。(一般には配付しません。)内容は、県教育委員会が管理する「新潟県埋蔵文化財包蔵地調査カード」の文字情報であり、事業団が平成10年度から入力作業を行ってきたものです。

このCDは遺跡名・所在地・時代時期の検索ができるので、各市町村の時代別の遺跡数などをが瞬時に調べることが可能です。また、遺跡名も漢字1文字で検索ができ、正確な名称を覚えていない遺跡も確認することができます。インターネットのブラウザ(Internet explorerやNetscape navigator)を使用する仕組みで、OSがWindows(Windows3.1は除く)のパーソナルコンピュータで使用できます。



新潟県遺跡カードCD-ROM